

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	ガソリン・エンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	総論① 4サイクルガソリンエンジン概要
	2	総論② 2・4サイクルエンジン・バルブタイミングダイヤグラム
	3	エンジン本体① シリンダヘッド・シリンダ・シリンダブロック
	4	エンジン本体② ピストン・ピストンピン
	5	エンジン本体③ ピストンリング
	6	エンジン本体④ コンロッド・クランクシャフト
	7	エンジン本体⑤ 点火順序
	8	エンジン本体⑥ 点火順序
	9	エンジン本体⑦ フライホイール・リングギヤ・バランス機構
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	ガソリン・エンジン構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	エンジン本体① バルブ機構
	2	潤滑装置① 概要・オイルの循環
	3	潤滑装置② ピストンの冷却・オイルパン・オイルポンプ
	4	潤滑装置③ オイルフィルター・オイルクーラー
	5	冷却装置① 概要・構造
	6	冷却装置② ラジエータ・ラジエータキャップ・サブタンク
	7	冷却装置③ ウォータポンプ・サーモスタット
	8	冷却装置④ ファン・ファンベルト・不凍液
	9	吸排気装置①
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	ジーゼルエンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	エンジン本体① 構造・機能
	2	エンジン本体② 潤滑装置
	3	エンジン本体③ 冷却装置
	4	エンジン総論① 内燃機関の概要
	5	エンジン総論② 作動・燃焼方式
	6	エンジン総論③ 燃焼状態・圧力の変化
	7	エンジン総論④ 燃焼状態・圧力の変化
	8	エンジン総論⑤ 排出ガス対応策
	9	エンジン総論⑥ 排出ガス浄化装置
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	4	
授業科目	シャシ構造学A I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置① 概要
	2	動力伝達装置② クラッチ部品
	3	動力伝達装置③ クラッチ部品、ダイヤフラムSP式クラッチ
	4	動力伝達装置④ ダイヤフラムSP式クラッチ、コイルSP式クラッチ
	5	動力伝達装置⑤ クラッチ操作機構
	6	動力伝達装置⑥ トランスミッション（ギヤ比、動力伝達）
	7	動力伝達装置⑦ トランスミッション（シンクロメッシュ機構）
	8	動力伝達装置⑧ トランスミッション（シンクロメッシュ機構）
	9	動力伝達装置⑨ トランスミッション（操作機構）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	シャシ構造AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置① ファイナルギヤ
	2	動力伝達装置② ディファレンシャル
	3	動力伝達装置③ ディファレンシャル
	4	アクスル及びサスペンション① 概要、車軸懸架式
	5	アクスル及びサスペンション② 車軸懸架式
	6	アクスル及びサスペンション③ 独立懸架式
	7	アクスル及びサスペンション④ スプリング
	8	アクスル及びサスペンション⑤ ショックアブソーバー
	9	アクスル及びサスペンション⑥ ショックアブソーバー
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	6	
授業科目	シャシ構造学B I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ブレーキ装置① 概要、フットブレーキ、ブレーキペダル
	2	ブレーキ装置② マスタシリンダ
	3	ブレーキ装置③ マスタシリンダ、ブレーキパイプ、ホース
	4	ブレーキ装置④ ドラムブレーキ
	5	ブレーキ装置⑤ ブレーキシュー、ライニング、ホイールシリンダ
	6	ブレーキ装置⑥ ドラムブレーキ自動調整装置
	7	ブレーキ装置⑦ ディスクブレーキ
	8	ブレーキ装置⑧ ブレーキ液
	9	ブレーキ装置⑨ アンチロック装置（Pバルブ）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	7	
授業科目	シャシ構造BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ブレーキ装置① 制動倍力装置
	2	ブレーキ装置② 制動倍力装置
	3	ブレーキ装置③ パーキングブレーキ
	4	ブレーキ装置④ パーキングブレーキ
	5	ブレーキ装置⑤ ブレーキの性能
	6	ブレーキ装置⑥ ブレーキの性能
	7	ステアリング装置① 概要、ステアリング操作機構
	8	ステアリング装置② ステアリングギヤ機構
	9	ステアリング装置③ ステアリングリンク機構
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	8	
授業科目	自動車工学 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車に関する計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計算方法を理解し、計算結果が出せるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	トルクの計算
	2	ギヤ比の計算
	3	ベルトの計算
	4	バルブリフトの計算
	5	ディファレンシャルの計算
	6	速度、駆動力の計算 1
	7	速度、駆動力の計算 2
	8	平均速度の計算
	9	マスタシリンダ油圧の計算
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	9
授業科目	自動車工学Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	21.6時間
授業コマ数	12コマ
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 排気量、圧縮比の計算① 2 排気量、圧縮比の計算②、燃料消費量の計算 3 加速度の計算 4 軸重の計算① 5 軸重の計算② 6 軸重の計算③ 7 駆動力、走行抵抗① 8 走行抵抗② 9 走行抵抗③ 10 走行性能曲線図① 11 走行性能曲線図②、仕事率① 12 仕事率②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	電気・電子理論	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	電気・電子の理論を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気・電子の理論を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電気の基礎① 概要、静電気、電流
	2	電気の基礎② 電圧、電気抵抗
	3	電気の基礎③ 電気回路
	4	電気の基礎④ 回路計算 1
	5	電気の基礎⑤ 回路計算 2
	6	電気の基礎⑥ 回路計算 3
	7	電気の基礎⑦ 回路計算 4
	8	電気の基礎⑧ 電力、電力量、コンデンサ
	9	電気と磁気⑨ 電線の許容電流と回路保護
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	電装品構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	磁気の基本① 磁石の性質、磁力線の性質、電流と磁界の関係
	2	バッテリー① 概要～保守取扱い
	3	バッテリー② 各種バッテリー
	4	充電装置① オルタネータ
	5	充電装置② オルタネータ
	6	始動装置① スタータ
	7	始動装置② スタータ
	8	点火装置① スパークプラグ他
	9	点火装置② スパークプラグ他
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	電装品構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	半導体の基礎① 半導体の種類と特質、真性半導体、不純物半導体
	2	半導体の基礎② ダイオード
	3	半導体の基礎③ トランジスタ、サイリスタ
	4	半導体の基礎④ 論理回路、サーミスタ、圧電素子、磁気抵抗素子
	5	計器① 概要、速度計
	6	計器② 燃料計、水温系、油圧系
	7	計器③ エンジン回転計、デジタル式メーター、警報装置
	8	ボデー電装① イモビライザ・システム等
	9	ボデー電装② カー・ナビゲーション・システム等
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	13	
授業科目	整備作業機器	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	整備作業機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	整備作業機器の構造、機能を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自動車の機械要素 ねじの種類と用途、工具の分類と取り扱い
	2	作業工具①
	3	作業工具②
	4	作業工具③
	5	切削・研削工具①
	6	切削・研削工具②
	7	作業用機器
	8	エンジン点検・調整機器①
	9	エンジン点検・調整機器②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	工業計測	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	計測機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計測機器の構造、機能を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	一般測定機器① 計測概論、直尺、ノギス
	2	一般測定機器② マイクロメータ、
	3	一般測定機器③ ダイヤルゲージ、シリンダゲージ
	4	一般測定機器④ トルクレンチ
	5	一般測定機器⑤ トルクレンチ
	6	検査用測定機器① サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータテスト
	7	検査用測定機器② ヘッドライトテスト、排気ガス測定器
	8	検査用測定機器③ 黒煙テスト、オパシメータ
	9	検査用測定機器④ 騒音計
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	図面 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	図面の読み方及び書き方・各記号や線の理解	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	図面の理解・製図の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	製図の基本① 概要・図形の投影方法
	2	製図の基本② 線の種類と用途・図形の配置
	3	製図の基本③ 寸法記入・寸法補助記号
	4	三角法での製図①
	5	三角法での製図②
	6	実物の教材からの製図①
	7	実物の教材からの製図②
	8	実物の教材からの製図③
	9	実物の教材からの製図④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	16	
授業科目	ガソリンエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	総論 性能
	2	総論 ガソリン・エンジンの燃焼①
	3	総論 ガソリン・エンジンの燃焼②
	4	燃料装置①
	5	燃料装置②
	6	燃料装置③
	7	電子制御装置 燃料噴射装置①
	8	電子制御装置 燃料噴射装置②
	9	電子制御装置 燃料噴射装置③
	10	電子制御装置 アイドル回転速度制御装置①
	11	電子制御装置 アイドル回転速度制御装置②
	12	電子制御装置 点火制御装置①
	13	電子制御装置 点火制御装置②
	14	電子制御装置 点火制御装置③
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	17	
授業科目	ジーゼルエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	機械式燃料装置① 概要
	2	機械式燃料装置② 列型インジェクション・ポンプ
	3	機械式燃料装置③ 分配型インジェクションポンプ
	4	機械式燃料装置④ プランジャ作動・制御
	5	機械式燃料装置⑤ タイマ・ガバナ・フィードポンプ
	6	機械式燃料装置⑥ スロットルノズル
	7	機械式燃料装置⑦ スロットルノズル
	8	コモンレール式燃料噴射装置① 概要
	9	コモンレール式燃料噴射装置② 構造・機能
	10	コモンレール式燃料噴射装置③ サプライポンプの作動
	11	コモンレール式燃料噴射装置④ コモンレール
	12	コモンレール式燃料噴射装置⑤ インジェクタの作動
	13	コモンレール式燃料噴射装置⑥ センサⅠ
	14	コモンレール式燃料噴射装置⑦ センサⅡ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	シャシ整備法A	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	車体整備に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	車体の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置① 概要（伝達トルク容量）
	2	動力伝達装置② A T（トルクコンバーター）
	3	動力伝達装置③ A T（変速機構）
	4	動力伝達装置④ A T（変速機構）
	5	動力伝達装置⑤ A T（変速の仕組み）
	6	動力伝達装置⑥ A T（電子制御装置）
	7	動力伝達装置⑦ A T（電子制御装置）
	8	動力伝達装置⑧ A T（油圧制御機構）
	9	動力伝達装置⑨ A T（変速点）
	10	動力伝達装置⑩ A T（Dレンジ1、2、3、4速）
	11	動力伝達装置⑪ A T（R、N、P）
	12	動力伝達装置⑫ A T（ロックアップ機構）
	13	動力伝達装置⑬ C V T
	14	動力伝達装置⑭ C V T
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	シャシ整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	車体整備に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	車体の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置① LSD
	2	動力伝達装置② インタアクスルディファレンシャル
	3	アクスル及びサスペンション① サスペンションの性能
	4	アクスル及びサスペンション② サスペンションの性能
	5	アクスル及びサスペンション③ エアスプリング式サスペンション
	6	アクスル及びサスペンション④ エアスプリング式サスペンション
	7	アクスル及びサスペンション⑤ 電子制御式サスペンション
	8	アクスル及びサスペンション⑥ 電子制御式サスペンション
	9	ステアリング装置① 旋回性能
	10	ステアリング装置② 油圧式パワーステアリング
	11	ステアリング装置③ 油圧式パワーステアリング
	12	ステアリング装置④ 油圧式パワーステアリング
	13	ステアリング装置⑤ 電動式パワーステアリング
	14	ブレーキ装置① ブレーキの性能、ABS
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	20
授業科目	電装品整備法
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	25.2時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	自動車電気装置に関する知識を身に着ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	自動車電気装置の構造理解と故障診断が出来るようになる
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 電子制御式燃料噴射装置① 概要、燃料系統 2 電子制御式燃料噴射装置② 吸気系統 3 電子制御式燃料噴射装置③ 制御系統2（バキュームセンサ他） 4 電子制御式燃料噴射装置④ 制御系統3（アクセルポジションセンサ他） 5 電子制御式燃料噴射装置⑤ 制御系統4（水温センサ、O2センサ） 6 電子制御式燃料噴射装置⑥ 制御系統5（噴射時期制御、噴射量制御） 7 電子制御式燃料噴射装置⑦ 制御系統7（フューエルカット他） 8 自己診断機 9 通信システム① 概要、CAN通信システム1（構造、機能） 10 通信システム② CAN通信システム2（通信方法、通信規制） 11 通信システム③ CAN通信システム3（点検・整備） 12 自動車特定整備① 自動運行装置 13 自動車特定整備② 衝突被害軽減制動制御装置、自動命令型操舵機能 14 自動車特定整備③ エーミング
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	故障診断学ガソリンエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題 1 基礎工学①
	2	分野別問題 2 基礎工学②
	3	分野別問題 3 エンジン本体① シリンダ等
	4	分野別問題 4 エンジン本体② バルブタイミング等
	5	分野別問題 5 潤滑装置、冷却装置
	6	分野別問題 6 吸排気装置① 過給機等
	7	分野別問題 7 吸排気装置② 排気ガス浄化装置等
	8	分野別問題 8 電子制御装置① センサ
	9	分野別問題 9 電子制御装置② センサ
	10	分野別問題 10 電子制御装置③ 制御
	11	分野別問題 11 電子制御装置④ 制御
	12	分野別問題 12 電子制御装置⑤ 点火
	13	分野別問題 13 電子制御装置⑥ 故障
	14	分野別問題 14 演習①
	15	分野別問題 15 演習②
	16	分野別問題 16 演習③
	17	分野別問題 17 演習④
	18	分野別問題 18 演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	故障診断学ジーゼルエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置① 概要
	2	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置② 特徴
	3	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置③ 燃料システム
	4	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置④ 作動Ⅰ
	5	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置⑤ 作動Ⅱ
	6	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置⑥ 問題演習
	7	可変吸気装置
	8	吸排気装置① 慣性吸気装置
	9	吸排気装置② 排気ガス後処理装置（DPF・尿素SCR）
	10	吸排気装置③ 問題演習
	11	予熱装置① 電熱式インテーク・エア・ヒータ
	12	予熱装置② グロープラグ
	13	予熱装置③ 問題演習
	14	分野別問題1 基礎工学
	15	分野別問題2 燃料装置①
	16	分野別問題3 燃料装置②
	17	分野別問題4 燃料装置③
	18	分野別問題5 燃料装置④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	故障診断学シャシA	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題 1 動力伝達装置① クラッチ
	2	分野別問題 2 動力伝達装置② トルクコンバータ
	3	分野別問題 3 動力伝達装置③ 速度比・トルク比・伝達効率
	4	分野別問題 4 動力伝達装置④ A/T作動
	5	分野別問題 5 動力伝達装置⑤ プラネタリ・ギヤ
	6	分野別問題 6 動力伝達装置⑥ 自動変速線図
	7	分野別問題 7 動力伝達装置⑦ A/T安全装置・点検
	8	分野別問題 8 動力伝達装置⑧ C V T
	9	分野別問題 9 動力伝達装置⑨ C V T
	10	分野別問題 1 0 動力伝達装置⑩ デファレンシャル
	11	分野別問題 1 1 動力伝達装置⑪ L S D（ビスカスカップリング）
	12	分野別問題 1 2 動力伝達装置⑫ L S D（トルク感応式）
	13	分野別問題 1 3 動力伝達装置⑬ インタ・アクスル・デファレンシャル
	14	分野別問題 1 4 サスペンション① ばね特性・ボディーの揺動
	15	分野別問題 1 5 サスペンション② アクスル及びサスペンション
	16	分野別問題 1 6 サスペンション③ サスペンションの異音
	17	分野別問題 1 7 サスペンション④ 電子制御式ショックアブソーバ
	18	分野別問題 1 8 サスペンション⑤ エア・サスペンション 1
	19	分野別問題 1 9 サスペンション⑥ エア・サスペンション 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	故障診断学シャシB	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ブレーキ装置⑮ ABS 1
	2	ブレーキ装置⑯ ABS 2
	3	ブレーキ装置⑰ エキゾーストブレーキ
	4	ブレーキ装置⑱ エディカレントリターダ、永久磁石式リターダ
	5	ブレーキ装置⑲ 流体式リターダ、エンジンリターダ
	6	分野別問題 1 ステアリング装置① 油圧式パワーステアリング 1
	7	分野別問題 2 ステアリング装置② 油圧式パワーステアリング 2
	8	分野別問題 3 ステアリング装置③ オイルポンプ
	9	分野別問題 4 ステアリング装置④ 電動パワーステアリング 1
	10	分野別問題 5 ステアリング装置⑤ 電動パワーステアリング 2
	11	分野別問題 6 ホイール・タイヤ
	12	分野別問題 7 ホイール・アライメント
	13	分野別問題 8 ブレーキ装置① ブレーキ概要
	14	分野別問題 9 ブレーキ装置② エアー油圧式
	15	分野別問題 1 0 ブレーキ装置③ フル・エア式
	16	分野別問題 1 1 ブレーキ装置④ 補助ブレーキ
	17	分野別問題 1 2 ブレーキ装置⑤ ABS 1
	18	分野別問題 1 3 ブレーキ装置⑥ ABS 2
	19	分野別問題 1 4 ブレーキ装置⑦ トラクション・コントロール
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	25	
授業科目	故障診断学電装品	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題 1 基礎工学（電気回路）
	2	分野別問題 2 電気装置①（半導体、論理回路）
	3	分野別問題 3 電気装置②（電気一般、計器）
	4	分野別問題 4 電気装置③（バッテリー）
	5	分野別問題 5 電気装置④（始動装置）
	6	分野別問題 6 電気装置⑤（充電装置）
	7	分野別問題 7 電気装置⑥（点火装置）
	8	分野別問題 8 電気装置⑦（警報装置、冷房装置）
	9	分野別問題 9 電気装置⑧（SRSエアバッグ、カーナビゲーション）
	10	分野別問題 10 電気装置⑨（CAN通信、外部診断機）
	11	分野別問題 11 電子制御装置①（各センサ、制御一般）
	12	分野別問題 12 電子制御装置②（制御一般）
	13	分野別問題 13 電子制御装置③（点火制御、故障探求）
	14	分野別問題 14 演習①
	15	分野別問題 15 演習②
	16	分野別問題 16 演習③
	17	分野別問題 17 演習④
	18	分野別問題 18 演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	特殊機構	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車に用いられる特殊装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に用いられる特殊装置を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	排出ガス①
	2	排出ガス②
	3	ディーゼルDPF、尿素SCR
	4	過給装置① ターボチャージャ
	5	過給装置② スーパーチャージャ・インタクーラ
	6	可変吸気装置
	7	可変バルブタイミング装置①
	8	可変バルブリフト装置①
	9	可変バルブリフト装置②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	材料・燃料・油脂	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	材料① 自動車材料
	2	材料② 自動車の機械要素
	3	材料③ 基礎的な原理・法則
	4	材料④ 分野別練習問題
	5	燃料・油脂① ガソリン燃料及び潤滑剤
	6	燃料・油脂② ジーゼル燃料及び潤滑剤
	7	燃料・油脂③ 潤滑及び潤滑剤
	8	燃料・油脂④ 分野別練習問題 1
	9	燃料・油脂⑤ 分野別練習問題 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	28	
授業科目	自動車検査	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	自動車の構造
	2	自動車の装置①（原動機・シャシ）原動機～制動装置
	3	自動車の装置②（原動機・シャシ）制動装置～電気装置
	4	自動車の装置③（原動機・シャシ）緩衝装置～突入防止装置
	5	自動車の装置④（車体）乗車装置～窓ガラス
	6	自動車の装置⑤（公害防止関係）騒音防止装置
	7	自動車の装置⑥（灯火関係）走行用前照灯～灯火器
	8	自動車の装置⑦（灯火関係）前部霧灯～番号灯
	9	自動車の装置⑧（灯火関係）尾灯～後退灯
	10	自動車の装置⑨（灯火関係）方向指示器～その他の灯火
	11	自動車の装置⑩（運転操作）～緊急自動車等
	12	演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	29	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	概要 道路運送車両法
	2	自動車の種類
	3	登録制度① 自動車登録ファイル
	4	登録制度② 自動車登録番号標
	5	保安基準
	6	点検整備制度① 点検整備の義務
	7	点検整備制度② 点検整備の内容
	8	点検整備制度③ 点検整備記録簿
	9	検査制度① 自動車の検査
	10	検査制度② 自動車検査証の有効期間
	11	認証制度・指定制度
	12	演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	30	
授業科目	工作作業実習	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	工作道具、工具を使用し金属加工を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	安全作業を身に着け、工作道具、工具を使用できるようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	ケガキ作業
	3	やすり掛け作業
	4	やすり掛け作業
	5	やすり掛け作業
	6	やすり掛け作業
	7	やすり掛け作業
	8	やすり掛け作業
	9	仕上げ作業
	10	穴あけ作業
	11	ドリル歯研ぎ作業
	12	スタッドボルト作成
	13	タップ作業
	14	締め付けトルクについて
	15	ねじ折作業
	16	逆タップについて
	17	逆タップについて
	18	折れたねじの取り外し
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	31	
授業科目	基本作業実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	自動車の基本的な整備技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の基本的な整備技術を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	車両名称
	3	車両名称
	4	車両取り扱いについて
	5	リフト取り扱い・使用前点検
	6	リフト取り扱い
	7	リフト取り扱い
	8	タイヤ取り外し
	9	工具について
	10	タイヤ取り外し
	11	タイヤ取り外し
	12	KYT講習
	13	KYT講習
	14	KYT講習
	15	KYT講習
	16	日常点検
	17	日常点検
	18	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	32
授業科目	基本作業実習Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	34.2時間
授業コマ数	19コマ
授業概要	テスターの組み立てと電気の測定方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	電気の測定が出来るようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 概要 2 アナログサーキットテスタ作成 3 アナログサーキットテスタ作成 4 アナログサーキットテスタ作成 5 電気の流れについて 6 回路構成部品について 7 回路の作成 8 回路の作成 9 電圧の計算・測定 10 電圧の計算・測定 11 電流の計算・測定 12 電流の計算・測定 13 抵抗の計算・測定 14 抵抗の計算・測定 15 測定復習 16 測定復習 17 配線の加工（ギボシの使い方） 18 カプラから配線の取り外し 19 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	33	
授業科目	基礎自動車整備実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車のリフト作業とブレーキ関係を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のリフト作業が出来、ブレーキ関係の整備を理解する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	リフト操作復習
	3	エンジンオイル交換作業
	4	ガレージジャッキについて・使用前点検
	5~8	ジャッキアップ作業
	9~10	タイヤローテーション・バランス取り
	11~12	ジャッキアップ作業確認試験
	13~18	マスタシリンダについて（学）・マスタシリンダ脱着・OH
	19~26	ドラムブレーキについて（学）・ドラムブレーキ脱着・OH
	27~32	ディスクブレーキについて（学）・ディスクブレーキ脱着・OH
	33~34	ブレーキにエア抜き作業
	35~36	ブレーキ装置関係点検要領
	37~38	真空式制動倍力装置について（学）
	39~40	パーキングブレーキについて・パーキングブレーキ調整
	41~43	復習
	44~48	ブレーキ分解作業確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	34	
授業科目	基礎自動車整備実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備と測定を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの整備と測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	エンジン取り外し
	3~6	シリンダヘッドについて（学）・シリンダヘッド分解・燃焼室について（学）
	7~10	ノギスについて・マイクロメータについて・バルブシステム測定
	11~12	シリンダヘッド構成部品について（学）・点検・清掃・組立
	13~20	エンジン本体分解・発電装置説明・変速機説明・ガスケット、オイルシール説明
	21~24	測定作業（キャリパゲージ含）・カムリフトについて・圧縮比、ピストンスピードについて（学）
	25~26	測定作業復習
	27~28	ノギス・マイクロメータ・キャリパゲージ確認試験
	29~32	エンジン組み立て・シクネスゲージについて・バルブクリアランス、バルブリフトについて・バルブクリアランス調整
	33~34	エンジン車両搭載・チェーン調整・ブレーキ調整
	35~38	キャブレータについて・キャブレータ清掃
	39~41	エンジン始動・エンジン回転測定・調整
42	試運転	
43~47	復習	
48	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	35	
授業科目	基礎自動車整備実習 A III	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車電気装置の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備が	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~10 11~18 19 20~22 23~34 35~44 45~48	バッテリーについて（学）（取り外し・充電・ブースターケーブル含） スタータについて（取り外し含） 配線図について スタータ回路測定・スイッチ、リレーについて オルタネータについて（取り外し含）・オシロスコープについて（アナログ）・波形測定 点火装置について オルタネータ波形測定、スタータ作動点検確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	基礎自動車整備実習B I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~5	エンジン作業台取り付け・バルブタイミングについて・シリンダヘッド分解
	6~7	バルブについて・バルブスプリングについて・ラッシュアジャスタについて
	8~10	ダイヤルゲージについて・カムシャフト、バルブ測定・カムリフト、バルブリフト復習
	11~12	バルブすり合わせ作業・シリンダヘッド組み付け
	13~18	エンジン本体分解
	19~20	潤滑装置について
	21~22	ピストン、ピストンリングについて・コンロッド、クランクシャフトについて
	23~26	シリンダゲージについて・シリンダ測定・圧縮比、ピストンスピード復習
	27~30	ピストン、クランクシャフト、コンロッド、オイルクリアランス測定・測定練習
	31~32	測定確認試験
	33~36	エンジン組み立て
	37~38	エンジン試運転
	39~43	タイミングベルト練習、測定練習
44~47	タイミングベルト、測定確認試験	
48	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	37	
授業科目	基礎自動車整備実習BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	自動車の法令点検について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	日常点検復習
	3~14	12ヶ月点検
	15~18	12ヶ月点検（ジャッキ）
	19~20	確認試験
	21~22	ステアリング、ステアリングギヤボックス取り外し
	23~24	ステアリングギヤボックスについて（学）
	25~26	ステアリングギヤボックス取り付け
	27~28	パワステオイルエア抜き作業・ハンドル調整・トー調整
	29~30	サスペンション取り外し、分解
	31~36	ショックアブソーバについて・アライメントについて
	37~38	タイヤについて・タイヤ交換作業
	39~40	アライメント作業確認試験
	41~46	12ヶ月点検復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	38	
授業科目	基礎自動車整備実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	自動車のシャシ関係部品の分解、組付けを行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシ関係の構造を理解し整備できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	トランスミッション取り外し
	5~8	クラッチについて（学）・クラッチ取り付け（センター出し含）
	9~12	トランスミッション取り付け
	13~18	単体トランスミッション分解・シンクロナイズ機構について（学）
	19~20	ギア比について・ギア比に関する計算
	21~22	単体トランスミッション組み立て
	23~24	ディファレンシャル取り外し
	25~26	プロペラシャフトについて
	27~28	ディファレンシャル組み付け
	29~32	単体ディファレンシャル分解（歯当たり点検、バックラッシュ測定含）
	33~36	単体ディファレンシャル組み立て（歯当たり、バックラッシュ、プレロード調整含）
	37~38	ギア比について・ギア比に関する計算復習
	39~40	ドライブシャフト取り外し、組み付け
41~43	ドライブシャフトについて、ブーツ交換作業	
44~46	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	基礎自動車整備実習BIV	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のエンジンに関する整備を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~6	シリンダヘッド取り外し
	7~10	シリンダヘッドヘッドOH
	11~16	シリンダヘッド取り付け
	17~18	冷却水エア抜き作業
	19~22	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	40	
授業科目	基礎自動車整備実習B V	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の電気回路を理解し測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	センサ・ECU・アクチュエータについて
	5~6	電子制御式燃料噴射装置について
	7~8	フューエルポンプについて
	9~11	サーキットオープングリレーについて・プレッシャレギュレータについて
	12~14	インジェクタについて
	15~16	オシロスコープ復習（アナログ）
	17~18	噴射波形測定
	19~20	アナログオシロスコープ使用確認試験
	21~22	燃料系統回路測定・故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	41	
授業科目	基礎自動車整備実習B VI	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの制御を理解し、故障診断が出来るようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	回路図見方復習（学）
	3	スイッチについて・リレーについて復習（学）
	4	ブレーキ回路について・測定（学）
	6~8	ヘッドライト回路について・測定（学）
	9~10	バックランプ回路について・測定（学）
	11~12	ブレーキ回路、ヘッドランプ回路、バックランプ回路故障診断（学）
	13	故障診断確認試験
	14~18	ハイブリッドについて
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	応用自動車整備実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	2輪整備とトランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	2輪車とオートマチックトランスミッションについて構造を理解する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1 2~10 11~20 21~27 28~38 38~43	概要 2輪整備①車体 2輪整備①エンジン オートマチックトランスミッション分解 オートマチックトランスミッション 構造理解 組付け CVTについて
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	応用自動車整備実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用して電気装置の測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~3	デジタルテスタ作成
	4~12	電子回路
	13	配線図見方復習
	14	電源回路
	15~16	ヘッドランプ回路
	17~18	ブレーキ・バックランプ回路
	19~20	パワーウィンドウ回路
	21~22	ワイパー回路
	23~43	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	応用自動車整備実習B I	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	68.4時間	
授業コマ数	38コマ	
授業概要	車体からエンジン、トランスミッション、ACの脱着作業を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンやトランスミッションの取り外し方法を習得する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~9	エンジン・トランスミッション取り外し
	10~14	エンジン・トランスミッション構造確認
	14~24	エンジン・トランスミッション取り付け
	25~29	エアコンデショナーの取り外し
	29~32	エアコンデショナーの構造確認
	33~38	エアコンデショナーの取り付け
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	45	
授業科目	応用自動車整備実習BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	自動車の電子制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	電子制御式燃料噴射装置復習
	3~8	センサ・アクチュエータについて
	9	アナログオシロスコープ復習
	10	デジタルオシロスコープについて
	11~16	波形測定
	17	故障診断進め方
	18	外部診断機使い方
	19~39	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	応用自動車整備実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	ジーゼルエンジンの仕組みを理解し整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~13	ジーゼルエンジン分解
	14~15	ジーゼルエンジン構造
	11~16	ジーゼルエンジン組付け
	17~18	コモンレールについて
	19~20	余熱装置について
	21~26	噴射ポンプ分解
	27~28	噴射ポンプ構造
	29~39	噴射ポンプ組付け
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	自動車検査実習	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	75.6時間	
授業コマ数	42コマ	
授業概要	自動車の法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~8	1 2ヶ月定期点検復習
	9~20	2 4ヶ月定期点検（乗用）
	21~28	1 2ヶ月定期点検（貨物）
	29~32	エアブレーキ・補助ブレーキについて
	33~42	検査
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	48	
授業科目	総合自動車整備実習	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩 山本 正樹	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	43.2時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	新人の自動車整備士として働ける技術レベルになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	測定技術 エンジン整備技術
	5~8	シャシ整備技術
	9~12	故障診断技術①
	13~16	故障診断技術②
	17~20	法令点検技術① エンジンルーム関係 接客応対
	21~24	法令点検技術② シャシ関係
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	49	
授業科目	自動車キャリアデザイン	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	52.2時間	
授業コマ数	29コマ	
授業概要	就職に対する準備を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	就職希望企業選定、履歴書作成、面接対応力修得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職の心構え
	2~11	自己PR、自己分析
	12	面接試験項目①
	13	面接試験項目②
	14	説明会・選考試験①
	15	説明会・選考試験②
	16	説明会・選考試験③
	17	履歴書作成①
	18	履歴書作成②
	19	志望動機①
	20	志望動機②
	21	志望動機③
	22	面接試験トレーニング①
	23	面接試験トレーニング②
	24	面接試験トレーニング③
	25	応募書類の準備①
	26	応募書類の準備②
	27	企業へのアクセス
	28	就職スケジュール管理
	29	内定令状の作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	自動車パソコン実習	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	表計算ソフトの使用方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	E X C E Lを使用できるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシート、ブックの作成について
	2	セルのデータ管理について
	3	数式・関数について①
	4	数式・関数について②
	5	グラフの作成
	6	課題①
	7	課題②
	8	課題③
	9	課題④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	51	
授業科目	消防法	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	危険物取り扱いについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	危険物取扱者乙種第4類に合格する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	危険物の種類と性質
	2	基礎化学①
	3	基礎化学②
	4	火災予防と消化方法①
	5	火災予防と消化方法②
	6	危険物の法令①
	7	危険物の法令②
	8	危険物の法令③
	9	危険物の法令④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	自動車ビジネスマナー I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ビジネスマナーについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	基本的なビジネスマナーの理解、習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い
	2	職場のマナー
	3	仕事の進め方
	4	報告、連絡、相談
	5	挨拶、笑顔、お辞儀①
	6	挨拶、笑顔、お辞儀②
	7	敬語①
	8	敬語②
	9	敬語③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	自動車ビジネスマナーⅡ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ビジネスマナーについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	基本的なビジネスマナーの理解、習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電話応対①
	2	電話応対②
	3	電話応対③
	4	接客マナー①
	5	接客マナー②
	6	営業マナー
	7	商品説明①
	8	商品説明②
	9	クレーム対応
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		